

平成30年度 教員・教育担当者養成課程 介護コース カリキュラム

1 本コースの位置づけ

本コースでは、卒業に必要な必修科目が、厚生労働省通知に定められた「介護教員講習会」修了に必要な要件を満たすため、卒業とともに介護教員講習会修了証を取得できます。また、介護福祉士の方は、必修科目に加えて対象の選択科目を履修することで、卒業時に介護福祉士実習指導者講習会修了証を取得できます。

2 授業時間・日程と修了要件

(1) 授業時間・日程

	必修科目	選択科目
全科目	360 時間	212 時間
授業時期	30 年 4 月～31 年 3 月	30 年 4 月～31 年 2 月

平成30年4月に、宿泊を伴う授業「人間関係論」1泊2日を予定しています。

(2) 科目区分

必修科目 : 卒業するために必ず履修しなければならない科目です。

選択科目 : 卒業要件とは関わりなく、選択する科目です。

(3) 修了要件

介護教員講習会の修了には、必修科目の全科目について、当該科目授業時間数2/3以上の出席と学修結果の評価により、科目履修認定を得ることが必要です。

(選択科目は介護教員講習会の修了には関係しません。)

3 教員・教育担当者養成課程 看護コースとの共同講義

教員・教育担当者養成課程 看護コースとの共講科目があり、看護教員を目指す方々と講義や演習での学びを通して、相互理解を深めることができます。看護と介護の連携・協働に関する新たな価値観に気づき、視野を広げることで、実践活動へのヒントを得ることができます。

4 カリキュラムの概要

【教育目的】

介護教育に必要な知識・技術を習得し、豊かな人間性を養い、介護教育に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

- 1 介護教育に必要な知識や技術を学び、効果的な教育活動を展開できる。
- 2 人間の本質に対する認識を深め、主体的に人間関係を展開できる。
- 3 介護の本質、介護福祉学の理念を探究し、介護福祉士の専門性を追究できる。
- 4 科学的研究の理論と方法を学び、介護教員に必要な研究的態度がとれる。

【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論 (必修)	15	・ヒューマンサービスとその理念 ・ケアの本質 ・アサーティブネス・コミュニケーション	ヒューマンサービスとしての介護を実践するために、ケアの本質や対人関係に対する理解を深める。
	哲学 (選択)	15	・近代哲学から現象学 ・理性から生活世界へ ・人間存在と時間 ・共同存在としての人間 ・ケアの人間学的意味	現代における人間存在の捉え方を理解し、あわせて学問の本質的意義について学ぶ。
	人間関係論 (必修)	30	・自然散策 ・バランスの取れた休息 ・与えることと受け取ること など	ひと・もの・こととかがわることをとおして、「経験」の意味、自分であるということはどういうことか、他者とかがわるとはどういうことかを探究する。
	倫理学 (選択)	30	・倫理学とは何か ・倫理学の「問い」を考える ・基本的人権と権利擁護 ・介護の実践と倫理	倫理学とは何かを学び、日常生活における倫理的問題と、福祉専門職者としての職業倫理を追求する姿勢を養う。
	論理学 (選択)	15	・認識原論 ・表象的認識論 ・概念化をめぐる	認識の三段階連関理論を学び、論理的に思考する能力を高める。
	生涯人間発達論 (選択)	15	・生涯発達の概念 ・生涯発達の理論 ・生涯発達の諸相	人間発達の全体像を理解することによって、発達段階によって生じる問題やそれに応じた支援を考えるための基礎知識を獲得する。
	情報科学 (選択)	15	・研究の諸方法 ・アンケート調査を例としたコンピュータ実習	情報の活用の仕方及び研究に必要なデータの集め方とその整理の仕方を学ぶ。
	設定時間数 小計		135	(必修 45 / 選択 90)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
教育	教育原理 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・教育とは何か ・教育の思想をたどる ・教育課程の編成と原理 ・学習者中心の生涯学習 	教育の構造・現在の教育観及び今後の教育に求められていることを学ぶ。
	教育方法 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶとは？教えるとは？ ・授業の仕組みとはたらきの理解 ・学習指導案の作成 	授業の仕組みとはたらきについて理解し、授業をデザインする具体的方法を学ぶことで、教育実践の本質を考える。
	教育心理 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学とは何か ・学習と動機づけ ・学級集団をめぐる指導 ・問題行動への対処・指導 	個人と環境に応じた教育に必要な心理学的知見を理解するとともに、教育を検討するひとつの方法として教育心理学的な見方を獲得する。
	教育評価 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を考える視点 ・教育活動と評価 ・カリキュラム評価、学校評価 	教育における評価の概念を捉え直し、教育実践と評価の関係を考える。
	設定時間数 小計	90	(必修 90)	

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専門	保健医療福祉論 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の制度 ・保健医療福祉の概念と歴史 ・保健医療福祉の連携と統合 	より質の高い介護を効果的・効率的に提供するために必要な、政策・制度・関連職種との連携について学ぶ。
	社会福祉学 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の成り立ち ・社会福祉の現状と課題 ・ケアワークとソーシャルワーク ・社会福祉専門職の位置づけ 	社会福祉の意義、理念や基盤となる制度について学ぶとともに、地域福祉の確立の必要性を理解し、社会福祉援助技術の概要とその動向について学ぶ。
	介護福祉学 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉の概念 ・介護福祉の成立と進展 ・関連領域との共通性と固有性 ・海外における介護福祉の動向 	介護及び関連する学問領域から幅広く、介護について学び、介護福祉士の専門性について理解する。
	介護教育課程 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士制度と養成教育 ・カリキュラムの編成 	介護教育の変遷や介護福祉士養成カリキュラムについて学ぶ。
	介護教育方法 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・介護教育方法とは ・学習者の主体性を引き出す授業とは ・指導案の作り方と授業検討 ・模擬授業 	教育方法の理論を基盤として、介護福祉教育における具体的な教授・学習活動について理解する。
	学生指導・ カウンセリング (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導・教育相談の目的と考え方 ・カウンセリングの諸理論と技法 ・目的別カウンセリングの方法 	学生指導に関する基礎知識と実践についての知識を得るとともに、カウンセリングに関する基本的な姿勢・知識・技法について学習する。

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専 門	介護実習指導方法 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉教育と介護実習の意義 介護実習指導の位置づけと基本 介護実習指導場面の分析 	介護教育における実習の意義及び実習指導にあたる教員・実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導の方法を習得する。
	介護過程の展開方法 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程の意義・ニーズの捉え方 学生にとっての効果的な学習方法 介護過程展開の実際 	介護実践のためのアセスメント、計画立案、実施、評価について、演習における具体的な展開方法を学ぶ。
	コミュニケーション技術 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基本理念・理論 人間関係とは 言語的・非言語的コミュニケーション技術について 人間関係のダイナミズム 	人間関係におけるコミュニケーション技術について学ぶ。
	研究概論 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> 研究とは何か 文献レビューの意味と文献収集方法 介護福祉と実践研究 	研究の必要性を理解し、研究の種類と方法、進め方等を学ぶ。
	研究方法 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> 研究デザイン 論文のレビューと批判的読解(クリティーク) 量的研究と質的研究 研究計画の立案 	具体的な研究方法の種類とその進め方を学ぶ。
	研究計画 (選択)	20	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書作成 	研究計画の概要を学び、講師の指導を受けながら研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。
	研究演習 (選択)	40	<ul style="list-style-type: none"> 研究調査及び分析 論文執筆 	講師の指導を受けながら、各自の研究計画に基づいて研究活動を行い、成果を発表し学びを深める。
	看護論 (選択)	30	<ul style="list-style-type: none"> 概論 人間関係的看護論 ロイ適応看護モデル 	看護とはなにかがどのように追究されているか、看護学がどのように発展してきたか学び介護実践に活かす。
	実習指導論 (選択)	16	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉実習学の試み スーパービジョンとは 臨床的視点からの対人援助の実際と実習教育 	具体的な実習場面から実習記録や評価に至る、実習過程に応じた指導技術を学ぶ。スーパービジョンの意義と目的を理解する。
	実習指導の実際 (選択)	16	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士養成校における授業(実習指導)の見学 養成校と実習施設の連携や指導のあり方の検討 	介護福祉士養成校において実習指導場面を実際に見学し、指導のあり方について洞察を深める。実習指導における自施設の課題への対応方法について理解する。
	設定時間数 小計		347	(必修 225 / 選択 122)
設定時間数 合計		572	(必修 360 / 選択 212)	